

東京都立東大和南高等学校 令和7年度 教科 国語 科目 古典探究演習
教科： 国語 科目： 古典探究演習 単位数： 4 単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組（文系）
教科担当者：（①組：田村）（②③組：飯田）（④組：山崎）
使用教科書：（ 古典探究 古文編・漢文編（大修館書店） ）
教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 古典の言葉や文学、歴史的背景について知識を定着させ理解を深め、難関大受験に備える。

【思考力、判断力、表現力等】 多くの古典の文献を読解し考察を深め、その成果を自分の言葉で表現するとともに、難関大受験問題に対応できる応用力を身につける。

更なる学びのための高い志をもって難関大受験に臨むと同時に、文化としての古典の価値への理解を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり文化的素養と国語力の向上を図る態度を養う。
【学びに向かう力、人間性等】

科目 古典探究演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典の言葉について正確な知識を持ち、古典文学の読解に役立てることができるようにする。古典文学の内容や成立について、その歴史的背景に関心を持ち、調べ学習を行う。大学受験に向けて多様な問題に対応できるように、知識の定着をはかる。自ら疑問をもち課題を設定し、互いに意見を交換して解決できる。	古典文学について、多様な文献を読解し、他の作品や歴史的背景をもとに、多様な角度から考察するとともに、その成果を自分の言葉でまとめ、表現する。大学受験に対応した問題演習の中でも、古典の知識や技能を活用して、考察し、的確に解決する。学習活動を通じて我が国の文化について理解を深める。	大学受験を更なる学びを求める機会としてとらえ、古典の持つ文化的価値と我が国の言語文化の特性についての理解をもとに、言語文化の担い手として、生涯にわたり文化的素養と国語力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	配当 時数
1 学期	【古文】単元：説話・随筆・物語 ・古典の知識既習事項の復習。 ・読解を通じて、身分や階層に応じたものの見方、表現の方法を検討し、時代背景を深く理解する。 ・問題演習を通じて、文献を多面的に読解する。 ・作品の文学史上の位置づけを知り、その歴史的役割を考える。 【漢文】単元：故事・逸話 ・漢文読解の既習事項の復習。 ・読解を通じて、歴史上の人物の描かれ方を考察する。 ・三国時代の歴史、文学や他の故事成語について調べ、発表する。	【古文】教材：説話「源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと」随筆『枕草子（跋文）』物語「三船の才」 ・「源義家、衣川にて安倍貞任と連歌のこと」と他の二作品を比較し、貴族と武士の文化とその受容のついて考察する。 ・枕草子「跋文」「三船の才」を通じて、宮廷文化における文学について考察する。 ・古文単語・古典文法の基礎を確認し、知識を定着させる。 【漢文】教材：「水魚の交わり」 ・本文を読解し、劉備や諸葛亮の人物や思考について理解する。	【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について「言語文化」「古典探究」での既習事項を定着させ、「古典探究演習」での学習に生かしている。 ・古文単語・古典文法・漢文句形・漢詩のきまりなどについて、知識を身につけ、課題に積極的に取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 ・各教材本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、鑑賞に生かしている。 ・作品の内容・時代背景について調べ、批評や討論を行える。 ・大学受験に必須の知識や、問題演習に取り組み、活用できる力として身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に予習をして授業に臨んでいる。 ・古語辞典等を用いて、古語の意味や用法を詳しく調べている。 ・定期的な課題や小テストに取り組み、古典の学力の自己点検と改善に努めている。 ・調べ学習や討論に取り組み、積極的に学習を深め、伝え合おうとしている。 ・問題演習に積極的に取り組み、学力を高めようと努めている。	23
	【古文】単元：随筆・日記・批評 ・古典の知識既習事項の定着。 ・読解を通じて、平安女流文学の全盛期に活躍した作家たちの個性を読み取る。 ・時代背景や文化について調べ、本文の理解を深める。 ・問題演習を通じて、文献を多面的に読解する。 【漢文】単元：古体詩・史伝 ・古体詩を読み味わい、漢文の様々な詩文について知識を持つ。 ・史伝の読解を通じて、人物の思想や行動について考える。また、春秋、戦国期の様々な逸話を調べ、時代背景を知る。	【古文】教材：日記「町の小路の女」「薫る香に」「和泉式部と清少納言」批評「紫式部のこと」 ・日記を読み比べ、平安女流文学の全盛期に成立した作品から、それぞれの個性や特徴について考察し、意見を交わし合う。 ・「紫式部のこと」から、後世における「源氏物語」と作者の受容について考察する。 ・古文単語・古典文法の基礎を確認し、知識を定着させる。 【漢文】教材：「飲酒」「刎頸の交わり」 ・「飲酒」を読み味わい、古体詩の特徴を読み取る。 ・「刎頸の交わり」を読解し、人物の思想や心情を理解する。 ・春秋・戦国期の時代背景を調べて発表しあい、読みを深める。		22
定期考査				1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	配当 時数
2 学 期	【古文】単元：物語・俳論 ・古典の知識既習事項を定着させ応用できる。 ・物語の読解を通じて、場面や心情を的確に把握し、表現を読み味わうことができる。 ・物語の中の人物像や作者の描き方について意見を交わし合う ・俳論を読解し、古典における芸術論を理解する。 ・問題演習を通じて、自己の読解力・問題解決能力を点検し、改善する。 【漢文】単元：思想 ・漢文読解の既習事項を応用して、多様な漢文が読める。 ・読解を通じて、老荘思想を理解し、互いに意見を交わし合い発表する。 ・諸子百家の思想について整理し、知識を持つ。	【古文】教材：物語「葵の上と物の怪」俳論「造化にしたがひ造化にかへれ」 ・「葵の上と物の怪」について、『源氏物語』全体の中での人物や出来事の関係性を整理して理解する。 ・教材場面の物語の推移を把握し、文学としての表現を読み味わう。 ・芭蕉の思想を理解し、俳句の鑑賞に生かす。 ・問題演習に取り組み、自己の学力を点検し、改善する。 【漢文】教材：「夢為蝴蝶」「無之以為用」 ・本文を読解し、荘子と老子のそれぞれの思想を読み取る。 ・老荘思想の特徴を理解し、意見を交わし合う。 ・諸子百家の思想について整理し、知識として定着させる。 ・問題演習に取り組み、大学受験に向けて自己の学力を点検し、改善する。	【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について習得した知識を効果的に用いて予習・復習に取り組んでいる。 ・時代背景についての基礎知識、諸子百家の思想など、授業や調べ学習で得た知識を読解に生かしている。 【思考・判断・表現】 ・各教材本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、鑑賞に生かしている。 ・作品の内容・時代背景について調べ、批評や討論を行える。 ・大学受験に必須の知識や、問題演習に取り組み、活用できる力として身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に予習をして授業に臨んでいる。 ・古語や古典常識について自ら積極的に調べ、正しい知識を得ようと努めている。 ・定期的な課題や小テストに取り組み、古典の学力の自己点検と改善に努めている。 ・グループ学習やや討論に取り組み、積極的に学習を深め、伝え合おうとしている。 ・更なる学びへの高い志を持って、問題演習やその他の学習活動に積極的に取り組み、学力を高めようと努めている。	28
	【古文】単元：俳論「不易と変化」「行く春を」近世の物語「浅茅が宿」 問題演習：各大学過去問等 ・読解を通じて、近世の文学の内容や表現の特徴をつかむ。 ・近世の文学史について知識を整理し、時代背景や文化について調べ、本文の理解を深める。 問題演習：共通テスト対策の問題集及び過去問に取り組み、実戦力を養う。 【漢文】問題演習：共通テスト対策の問題集及び過去問に取り組み、実戦力を養う。	教材：俳論「不易と変化」「行く春を」近世の物語「浅茅が宿」 問題演習：各大学過去問等 ・俳論を読み、蕉風の俳句の作風や芸術論について理解を深める。 ・近世の評論を読解する力を養う。 ・「浅茅が宿」を読み、近世の物語を読み味わう。 ・大学が顧問や共通テスト対策の問題演習を通じて、基礎力の完成をはかる。 【漢文】・共通テスト対策の問題演習を通じて、基礎力の完成をはかる。		32
	定期考査			1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	配当 時数
3 学 期	【古文】 問題演習：共通テスト対策の問題集及び、センター・共通テスト過去問・各大学過去問に取り組み、実戦力を養う。 【漢文】問題演習：共通テスト対策の問題集及び、センター・共通テスト過去問・各大学過去問に取り組み、実戦力を養う。	【古文】 ・問題演習を通じて、既習の古文単語や文法の知識を使いこなし、読解に生かせるようにする。 ・問題演習を通じて、初見の古文を的確に読み取り、内容を正しく把握できるようにする。 ・共通テスト対策の問題集及び、センター・共通テスト過去問の演習を通じて、共通テストへの対応力を磨く。 ・各大学過去問の演習を通じて、多様な古文や問題への対応力を磨く。 【漢文】・問題演習を通じて、既習の漢文句形・時代背景などの知識を使いこなし、読解に生かせるようにする。 ・問題演習を通じて、初見の漢文を的確に読み取り、内容を正しく把握できるようにする。 ・共通テスト対策の問題集及び、センター・共通テスト過去問の演習を通じて、共通テストへの対応力を磨く。 ・過去問の演習を通じて、多様な古文や問題への対応力を磨く。	【知識・技能】 ・古文・漢文の語彙や文法について習得した知識を効果的に用いて問題演習に取り組んでいる。 ・時代背景についての基礎知識、諸子百家の思想など、授業や調べ学習で得た知識を読解や問題解決に生かしている。 【思考・判断・表現】 ・問題本文の内容や構成、展開を、叙述を基に的確に捉えている。 ・また、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、鑑賞に生かしている。 ・問題を解決するにあたって、討論を行い、考えを伝え合える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題演習に主体的に取り組み、自己点検や改善に努めている。 ・更なる学びへの高い志を持って、問題演習に取り組み、主体的に自己の学力を高めようと努めている。	32
	定期考査			1
合計				140